

黒石で健康教育小・中学校公開研究会

健康教育小・中学校公開研究会が24日、黒石市の中郷中学校で開かれた。中南地域の学校関係者らが中郷中の健康教育

授業を見学し、子どもたちへの健康教育推進の在り方などについて意見を交わした。

（成田真矢）



健康教育について学びを深めた公開研究会

公開研究会は中南地区連携推進協議会（会長・戸塚学弘前大学教育学部部長）の主催。同日は、今年度の黒石市健康教育推進事業対象校である中郷中学校を会場に行われ、中南地域の学校関係者や弘大生ら約70人が参加した。参加者は同事業の一環として中郷中で行われている健康教育に関する二つの授業を見学。引き続き研究協議会が開かれ、中郷中で実施した健康教育について担当教諭が生徒の様子や課題について報

運動の重要性理解を

見中郷学関係者が意見交換

告した後、参加者が質問や意見などを発表した。最後に弘大の中路重之特任教授が「岩木でかて骨の強さが変わるられれば」と助言した。11月には黒石小学校の健康プロジェクトをこと突き止めた。連通して、中学校2年まで動させる重要性を生徒で公開研究会が開かれる。運動するかしらないに授業のどこかで伝える。